



あ

い

の

【睡蓮 花言葉 清純な心】

Vol.16

2013. 7月発行

Contents

外科外来

あいの認知症プロジェクト

藍野病院内に「認知症地域支援推進員」が配置

あいのまちの保健室 来場者アンケート結果

外科外来

平成25年4月1日付で、藍野病院外科の常勤医となりました。医師になった当初より「何でもできる外科医」になるようにと指導され、今日に至ります。

これまで、血管外科、消化器外科（腹腔鏡外科も含みます）、乳腺外科に携わってきました。

月曜日、土曜日の午前中外科外来を担当しておりますのでよろしくお願い申し上げます。



たけだ よし

外科副部長 竹田 幹

血管外科

今回は、皆様にとってなじみの薄い「血管外科」についてお話ししたいと思います。

「血管外科」は、文字通り動脈や静脈の血管を扱います。ただ、外科とは言いながらも、薬物療法、運動療法、圧迫療法など外科としての手術以外の診療も行っています。

「外科に行ったら切られてしまう」と思い込むことなく気軽にお付き合いください。

- 「血管外科」では、
- 1) 動脈疾患（動脈閉塞症、動脈瘤、など）
 - 2) 静脈疾患（静脈血栓症、静脈瘤、など）
 - 3) その他（リンパ疾患、その他）
- を診療します。

1.動脈疾患

●動脈閉塞症

動脈硬化などで動脈が細くなったり詰まったりする状態です。

罹患した四肢に痛みやだるさが出現します。

この状態が進んでゆくと組織が壊死を起こします。また、全身の血管病変がすすんでゆくと生命を失うことにもなりかねません。実際、動脈閉塞症患者様の5年生存率と進行胃癌の患者様の5年生存率はあまり変わらないことがわかっています。四肢に痛みやだるさが出現するようであれば精査加療をお勧めします。

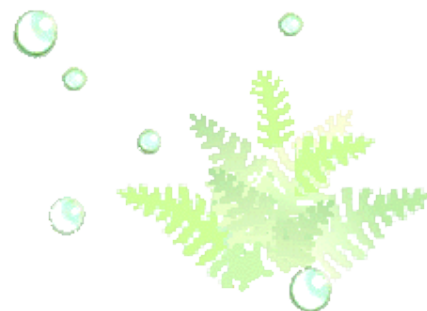
●動脈瘤

動脈が瘤のように拡張した状態です。どんどん拡張が進めば破裂することになります。また、瘤内には血栓ができやすく、これが末梢のほうに流れて急性動脈閉塞症の原因にもなりかねません。拍動のあるしこりが見つかったら早々の受診が必要です。

2.静脈疾患

●静脈血栓症

静脈に血栓ができて詰まった状態です。詰まったところより末梢は、紫色になり腫れて痛みます。また、血栓が中枢のほうに流れてゆくと心臓や肺の血管が詰まり致命的な状態に陥ることになります。四肢が紫色になりむくみ痛む場合は精査加療が望まれます。



● 静脈瘤

静脈弁の逆流防止機構が破綻して足に血液がうっ滞し、瘤のようになった状態です。うっ血の状態が長期間放置されれば皮膚や皮下脂肪の栄養障害を起こすことがあります。一般に生命や四肢を失うことが少ないといわれています。

とはいいいながらも、うっ血による**足の痛みやだるさ、夜間のこむら返り**はかなり患者様を悩ませるもののようです。血液の逆流、うっ血を止めるために、弾性着衣による圧迫療法、運動療法、日帰り手術などを行います。気になる症状があるようでしたら一度受診をお考えください。

今回は、血管外科で扱っている代表的な疾患についてお話ししましたが、血管の病気は、全身の病気であったり、局所の病気であったりと様々です。

わかっていないことも多くあります。

「これは血管の病気？」と思う様なことがあればいつでもご来院ください。

あいの認知症プロジェクト No.1 ～①スタッフ教育～

私たちは認知症の人こそ藍野病院に来ていただき安心して医療・看護・介護を受けていただくことができる病院でありたいと考えております。

病棟は勿論のこと、入院の相談や医事課での精算のとき、外来受診や歯科受診のとき、心電図やレントゲン撮影のとき、手術や透析を受けるとき、心理検査やリハビリを受けるときなど、藍野病院のどこへ行っても認知症の方が安心できる雰囲気を作りたいと思っております。

スタッフ教育ワーキンググループの具体的な活動は、藍野病院の職員全員が認知症サポーターとなることを目的とし認知症サポーター養成講座を定期的で開催しており、病院長を筆頭に現在293名の職員が認知症サポーターとなっております。また、認知症の人に対して質の高いケアを行うことができる認知症ケア専門士の育成も行っております。認知症ケア専門士の有資格者を増やすために1次・2次試験対策をおこなっており、現在認知症ケア専門士の有資格者は23名となっております。

認知症ケアは、まだまだ難しいといわれております。しかし、それぞれの専門職が認知症に対する正しい知識・技術を持ち、経験を重ねることで質の高いケアを継続的に行うことができ、認知症の人とその家族が安心して使える病院を目指しております。

藍野病院内に「認知症地域支援推進員」が配置されました

認知症患者の急増と支援体制強化のため、平成25年度に厚生労働省より今後の認知症施策の方向性として「認知症施策推進5ヶ年計画（オレンジプラン）」が発表されました。その中で、認知症の方の地域における日常生活や、その家族の支援を強化する事を目的に「認知症地域支援推進員」の配置と目標人数が明確化され、茨木市においても平成25年4月より藍野病院内に配置する事となりました。

平成25年度 あいのまの保健室 来場者アンケート結果



前号(Vol.15)でご案内しました「あいのまの保健室」は、大勢の地域の皆様にお越しいただき、無事終了することができました。
来場者の方々にお願ひしましたアンケートの集計結果ができましたので、ご報告いたします。

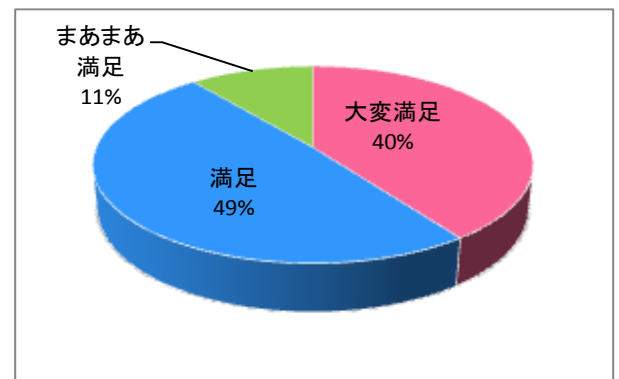
参加者数

5/18(土)	5/19(日)	合計
152名	80名	232名

1. 参加した催し (複数回答可) (人)

	18(土)	19(日)	合計
各種測定	91	61	152
健康相談	50	35	85
栄養相談	40	13	53
お薬相談	22	10	32
認知症相談	1	6	7
お口の健康相談	30	12	42
いきいき体操	30	23	53
検査紹介	22	11	33
認知症サポーター養成講座	50	0	50
足浴・足指測定	148	59	207
限定メニュー	11	8	19
こころの相談	11	8	19
介護保険・社会資源相談	6	2	8
その他 タクティール	17	20	37

2. 満足度とその理由



3. 意見、今後期待すること

- ・講演会、講習会
- ・指先運動に関する手芸等
- ・タクティールケアの実習
- ・個別相談
- ・ストレッチ
- ・もっとPRしたら良いと思う

4. 来年の参加希望 (人)

是非参加したい	80
参加したい	58
時間があれば参加したい	32
参加したくない	1

お問い合わせ

総合受付

TEL:072-627-7611 (代)

FAX:072-627-3627

入院のご相談は
「地域医療連携室」まで

いつも季刊誌「あいのま」をご覧いただき、ありがとうございます。
今回は、今春就任された竹田外科副部長に血管外科についてお話を伺いました。外科外来は、月曜日から土曜日の午前中におこなっており、竹田外科副部長は本文に書いてあるとおり、月曜日と土曜日に診察を担当なさっております。
気になる症状をお持ちの方は、どうぞ診察にお越しください。
今後、皆さまの役立つ情報をお伝えしたいと考えておりますのでご意見・ご感想・ご要望などございましたら、お気軽にお問い合わせください。
お待ちしております。
編集委員一同